

	令和7年10月1日 札幌市立しらかば台小学校	
	№ 9 TEL 852-4090 FAX 852-2379	
学校ホームページ <a href="https://www.shirakabadai-e.sapporo-c.ed.jp/">https://www.shirakabadai-e.sapporo-c.ed.jp/</a> 学校メールアドレス <a href="mailto:shirakabadai-e@sapporo-c.ed.jp">shirakabadai-e@sapporo-c.ed.jp</a> (休日・夜間の緊急用)		

## 『令和7年度 全国学力・学習状況調査』 本校6年生の結果概要等のお知らせ

4月に全国の6年生を対象に実施された調査の結果のまとめが、札幌市教育委員会より公表されました。本校児童の個人結果については、7月に各家庭に配付いたしました。このお便りでは、今年度の集約結果を全家庭にお知らせします。なお、本調査により把握できるのは、学力全般の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることをご理解ください。今後これらの結果を参考にし、家庭・学校がより連携を深めながら、子どもの健全な成長を支えていくことができるよう、取り組んでいきたいと思っております。

### 【国語】 本校6年生の調査結果概要及び改善の方向

本校の6年生の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【内容】</b>            「言語の特徴や使い方に関する事項」            全国平均と同程度である。</p> <p>「情報の扱い方に関する事項」            ▼全国平均と同程度だがやや下回っている。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」            △全国平均を上回っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」            △全国平均と同程度だがやや上回っている。</p> <p>「書くこと」            ▼全国平均と同程度だがやや下回っている。</p> <p>「読むこと」            △全国平均を上回っている。</p>	<p>▷学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。</p> <p>▷情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。</p> <p>▷目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。</p> <p>▷書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。</p>	<p>▷同音や同訓の漢字に注意し、言葉の意味を考えて文の中で正しく使う学習活動の充実。</p> <p>▷複雑な事柄を分解して捉えたり、多様な内容を要素ごとに分類したりする際に、短い語句で端的に表し、図で表しながら考えをまとめる学習活動の充実。</p> <p>▷実際の話合いの場面を具体的に想定し、目的や意図に応じて話す内容や質問を分類・関係付けながら、話合いの進め方を考える学習活動の充実。</p> <p>▷何を伝えたいのかを明確にし、条件に合わせて詳しく書いたり簡単に書いたりするとともに、話のまとまりを意識して文章で表現する学習活動の充実。</p>

**【算数】 本校6年生の調査結果概要及び改善の方向**

本校の6年生の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】 「数と計算」 ▼全国平均と同程度であるがやや下回っている。</p> <p>「図形」 △全国平均と同程度であるがやや上回っている。</p> <p>「測定」 △全国平均と同程度だがやや上回っている。</p> <p>「変化と関係」 ▼全国平均と同程度だがやや下回っている。</p> <p>「データの活用」 △全国平均と同程度であるがやや上回っている。</p>	<p>▷位分母の分数の加法の計算をすること。 例) <math>1/2+1/3</math> を計算しましょう。</p> <p>▷平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。</p> <p>▷はかりの目盛りを読むこと。 例) はかりの針がさしている目盛りは何gですか。答えを書きましょう。</p> <p>▷伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。</p> <p>▷目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。 例) 2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうか、その記号を書きましょう。また、その記号を選んだ訳を、言葉や数を使って書きましょう。</p>	<p>▷分数の加法及び減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。</p> <p>▷辺の長さや角の大きさ、辺の位置関係に着目して、図形の構成の仕方について考察する活動の充実。</p> <p>▷身の回りのものの大きさを単位を用いて表現する活動の充実。 (アナログ針の読み方の習熟—示されたはかりの最小目盛りの大きさに着目することを大切に—)</p> <p>▷日常の事象について、ある数量を調べようとするときに、それに関係のある数量を見出し、それらの数量の関係を把握して問題を解決する活動の充実。 (二つの数量関係を表・式・言葉を用いて表現することを大切に—)</p> <p>▷日常の事象について、目的に応じて、必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を捉え考察する活動の充実。 (例えば、興味・関心や問題意識に基づき、棒グラフの項目間の関係を読み取ったり、目的に応じて適切なグラフを選択して考察したり、表から導いた結論の根拠となる数に着目したりすることができるようになる。)</p>

**【理科】 本校6年生の調査結果概要及び改善の方向**

本校の6年生の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b> 「エネルギー」を柱とする領域 △全国平均と同程度であるがやや上回っている。</p> <p>「粒子」を柱とする領域 ▼全国平均と同程度であるがやや下回っている。</p> <p>「生命」を柱とする領域 △全国平均と同程度だがやや上回っている。</p> <p>「地球」を柱とする領域 ▼全国平均と同程度だがやや下回っている。</p>	<p>▷身の回りの電気を通す物と磁石に引き付けられる物との差異点や共通点について理解する。</p> <p>▷水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。</p> <p>▷レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見い出し、表現すること。</p> <p>▷赤玉土と粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現すること。</p>	<p>▷物質の性質に関する理解を深めるために、学習した知識を既習の内容や他の学習や生活と関係付け、修得した知識を整理する学習活動の充実。</p> <p>▷結論を見い出す課程において、結果そのものと、そこから言えること（考察）を区別して、より妥当な考えをつくりだすことができるよう、子どもの表現を整理する教師のかかわりの充実。</p> <p>▷問題を見い出す力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見出した問題をノートに書くなどの、思考し表現する活動の充実。</p> <p>▷より妥当な考えをつくりだす力を育むために、観察、実験などの結果を基に、具体的な数値や事象・現象の変化などの根拠を明確にして自分の考えをつくりだし、表現する学習活動の充実。</p>

**訂正とお詫び**

9月25日に発行しました学校だより No9 ですが、発行ナンバーに誤りがありました。

誤り No9 ⇒ 正しくは No8

お詫びして訂正いたします。